



新たな時代
Society5.0 を生き抜く
「ふじみの子」

未知の課題を思索し
協働して新たな価値観や行動を生み出し
豊かで活力ある未来を創造する

誰一人取り残すことなく
公正に個別最適化された教育の実現

準備期
令和2年度

開始
令和3年度

実践研究
令和4年度

活用充実
令和5年度

深化・定着期
令和6年度
令和7年度

第1章
社会的背景と
教育の情報化

社会的背景・学習指導要領
教育の情報化 ICT 活用のねらいの理解

「Society5.0」「SDGs」「学習指導要領が目指す情報活用能力」「教育の情報化が目指す3つの側面」「ICT活用が目指す教育の在り方」

これまでの活用
×
1人1台端末

学びの深化

第2章
情報活用能力
の育成

個別端末の理解と設定

情報活用の
実践力①
情報手段の
基礎的な操作習得

情報活用の実践力②
情報手段の適切な活用

情報活用の実践力③
情報の収集判断

情報活用の実践力④
情報の表現・処理・創造

情報活用の実践力⑤
受け手の状況などを踏まえた発信・伝達

公共的なネットワーク
社会の構築
情報社会の一員として
公共的な意識を持つ

第3章
プログラミング
教育の推進

プログラミングとプログラミング的思考
プログラミング教育で育成すべき資質能力
系統的な指導計画の立案

情報活用能力・情報モラル教育
指導計画の立案

情報モラル教育の推進①
情報モラルの必要性や情報に対する責任

情報モラル教育の推進②
生活の中で情報が果たしている役割や及ぼしている影響の理解

情報モラル教育の推進③
望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

情報の科学的理解②
情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善したりするための基礎的な理論や方法の理解

プログラミング的
思考の醸成
論理的思考、問題解決力
新しい価値を創造する力

第4章
1人1台端末
の基本操作

タブレット端末の
基本操作
使用に際しての
約束の確認

G-Suite の基本操作

アンプラグド プログラミング

ビジュアル プログラミン

フィジカル プログラミン

情報活用の実践力 順序や制御・演算・分岐を意図して設定できる

情報の科学的理解 情報を予測し、順序を考えながら命令や条件を組み立てる

タブレット端末の
基本操作
安全・安心に基づく
道具としての利活用

第5章
教科等の指導にお
けるICT活用

効果的な活用を3段階で深化
授業力向上アドバイザー事業 実施校
・ICTを活用した指導の実践
・場面に応じてどのように使うか
・1人1台端末による学びの変容

一斉学習

個別学習

協働学習

STEP1 “すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使えるICT

STEP2 1人1台端末を活用して、教科の学びを深め、教科の学びの本質に迫る

STEP3 1人1台端末を活用して、教科の学びをつなぎ、社会課題の解決に生かす

学びの変容

個別最適化の実現

第6章
学校における
ICT環境

ICT環境の整備

文科省デジタル教科書実証事業重点校
大型TV 実物投影機 通信回線
iPad 1人1台端末 デジタル教材

デジタル教材の活用 教科書のQRコード、NHK For School、文科省の動画教材、教育用アプリなど、Web上の多彩なコンテンツを活用する

デジタル教科書の活用 教師用デジタル教科書の日常的な活用、指導用デジタル教科書の日常的な活用

ICT活用における健康面への配慮

オンライン授業の推進 TV会議システムとSKYMENUやG-Suiteの効果的な活用

学びを止めない
未来の教室

第7章
教員のICT
活用指導力

教員のICT活用研修
昭島市教育委員会 研究奨励校

教員のICT研修

校内研究の推進・深化

研究成果の発信・共有

教員の教育の情報化
スキルの向上
エキスパート養成

第8章
校務の
情報化

共有フォルダ・クラウド
の整備、管理
情報共有 情報の一元化
個人情報の管理

オンラインによる学校公開・行事公開

iPadの活用 クラウドの活用

オンライン個別面談・家庭訪問・在籍校訪問

情報セキュリティ対策・対応

学習状況の可視化

統合型校務支援システム
やクラウド等の活用により
校務用と学習用のデータ
共有・一元管理の研究

校務の情報化による
教員の働き方改革
ライフ・ワークバランス

第9章
教育の情報化
推進体制

校内の推進体制

校内研究推進 ICT担当等の校務分掌
各種ガイドライン ICT運用・管理規定等の整備

保護者や地域、大学や関係機関等との連携 多彩なオンライン活用 大学生と「えいごであそぼう」 大学院生と「コミュニケーション」

ICT支援員をはじめとする外部資源の活用 ICT支援員や専門家による研修、授業支援、ガイドライン作成等における監修・指導・助言

安全・安心な
推進体制の確立
社会の意識改革